



(写真) マドゥロ大統領 X “大統領選の結果を受け入れる合意書の署名を宣言、野党候補にも署名強制か”

## 2024年6月10日(月曜)

### 政治

- 「[マドゥロ大統領 刑務サービス相を交代](#)  
～全国51の刑務所で抗議デモ 死者も?～」
- 「[MCM氏 西上院議会に選挙証人の派遣を要請](#)」
- 「[CLAP 販売の見返りに政治集会参加を強制](#)」
- 「[Ideadatos 56.1%はマドゥロ大統領に投票](#)」

### 経済

- 「[中央銀行 1日で1億ドルの為替介入](#)」
- 「[ベネズエラ BRICS加盟を希望](#)」

### 社会

- 「[24年5月 交通事故は全国で284件](#)」

## 2024年6月11日(火曜)

### 政治

- 「[マドゥロ大統領 選挙結果の受け入れを表明](#)  
～野党 事前の選挙結果受け入れ合意を拒否～」
- 「[マドゥロ政権 新社会開発プロジェクト発表](#)」

### 経済

- 「[野党 PDV Holdings 競売の3回目応札を提案](#)」
- 「[PDVSA 総裁 ナイジェリア企業と投資協議](#)」
- 「[OPEC 5月の産油量は日量82.2万バレル](#)」

### 社会

- 「[月収1000ドル超の人は全体の7%](#)」
- 「[高齢者限定のスペシャル CLAP を配布](#)」

2024年6月10日(月曜)

**政治**

「マドゥロ大統領 刑務サービス相を交代  
～全国51の刑務所で抗議デモ 死者も?～」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1074](#)」でも紹介したが、全国各地で刑務所の囚人たちが抗議デモを起こしている。

非政府系団体「ベネズエラ刑務所観測所(OVP)」によると、日曜日の時点で16の刑務所・収容所で抗議デモが起きていたようだが、火曜の発表の時点で51カ所まで拡大しているという。

抗議行動の詳細は確認できていないが、頭から血を流す囚人の映像が拡散されており、正式発表ではないものの死者が出たとの報道もある。

混乱が拡大する中、6月11日にマドゥロ大統領は自身のソーシャルメディアにて刑務サービス相の交代を発表した。

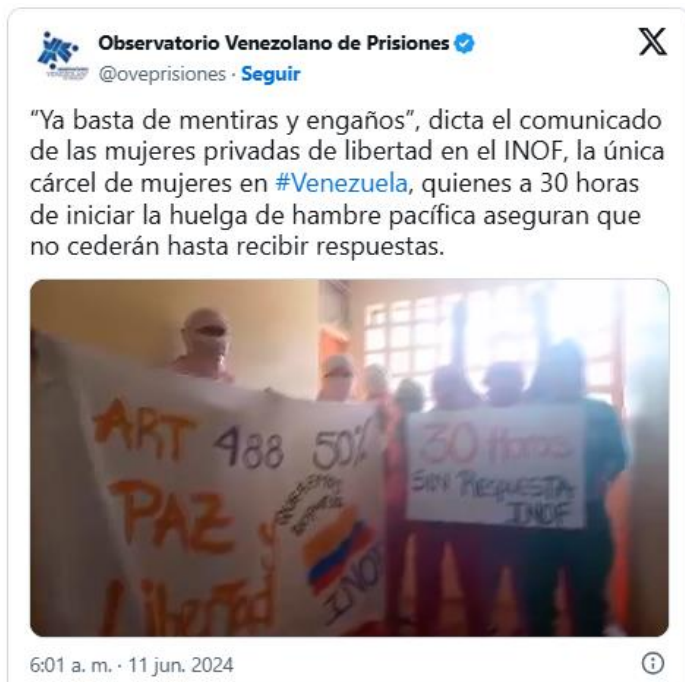
これまで Celsa Bautista 氏(副総督)が刑務サービス相を務めていたが、新たに Julio García Zerpa 国会議員(下写真の男性)を任命した。



(写真) マドゥロ大統領 X

なお、大統領選の一カ月前に全国各地で一斉に暴動が起きるとするのは偶然にしては出来過ぎており、政治的なお膳立てがあった印象はぬぐえない。

今回の一件について、マドゥロ政権は「野党が国を混乱させるために意図的に刑務所内で暴動を引き起こした」と主張し始め、野党政治家への圧力を強化する可能性があるありそうだ。



(写真) OVP

**「MCM 氏 西上院議会に選挙証人の派遣を要請」**

6月10日 マリア・コリナ・マチャド氏 (MCM) は、スペイン上院議員メンバーとオンライン会議を実施。

民主的で公平な大統領選の実施のためにスペインの協力を求めた。

同会議の中で、MCM 氏はスペインから大統領選に「証人 (Testigo)」の派遣を要請した。

「私はスペイン上院が我々に行ってきたことは非常に価値のあることだと考えており、更に価値のあることが可能だと信じている」

「EU が選挙監視団として参加しないとしても、あなた方を議員団として招待したい」

「歴史的な選挙の証人としてベネズエラに来ることができる」と述べた。

なお、スペイン上院は中道右派「国民党」が多数派を占めている。

「国民党」はマドゥロ政権と敵対関係にあり、両者の関係は極めて悪い。

中道左派の「社会労働党 (PSOE)」に所属するサンチェス政権が派遣する選挙団であれば、マドゥロ政権は受け入れるかもしれないが、スペイン上院の選挙団を受け入れる可能性はないだろう。

**「CLAP 販売の見返りに政治集会参加を強制」**

アラグア州 Cagua 地区のコミュニンのトップが地域住民に対して、CLAP を販売する代わりに与党の政治集会に参加するよう呼び掛ける音声が出た。

問題の音声は

「我々は政治構造の重要な役割を担っている。現在の政治構造を守るため、人々に動いてもらう必要がある。行動しよう！」「この CLAP の食料セットをもらったものは、全員が政治集会に参加しなければいけない」と述べている。

「CLAP」は、マドゥロ政権が2016年から始めた貧困層支援のための目玉プロジェクトである。

「CLAP」は、非常に安価な価格で購入できる基礎食料品セットであり、コミュニンと呼ばれる地域共同体を通じて販売される。

ただし、このコミュニンは与党関係者がトップになっており、個々人の政治スタンスによって CLAP を購入できる頻度が変わるなどのクレームが散見されている。

CLAP はもちろん政府の歳出で行っているプロジェクトであり、政府資金を投票確保のために使用しているとの指摘は多い。

**「Ideadatos 56.1%はマドゥロ大統領に投票」**

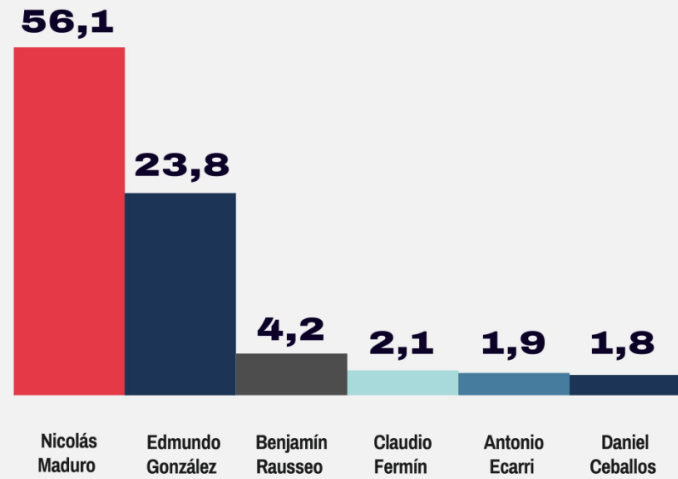
世論調査会社「Ideadatos」は、同社が実施した大統領選に関する直近のアンケート調査結果を公表した。

- ・調査時期は、6月3日～7日
- ・調査対象は、18歳以上のベネズエラ人男女
- ・調査母数は、1115件

同調査によると、56.1%が「マドゥロ大統領に投票する」と回答した。

次いで、23.8%が「エドムンド・ゴンサレス候補に投票する」と回答した。

## Si las elecciones fueran mañana ¿por quién votaría?



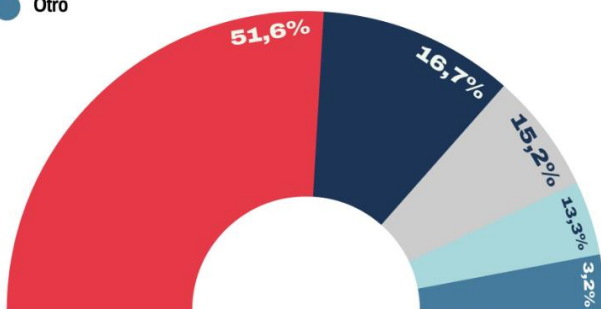
Los encuestados muestran una clara preferencia por el candidato Nicolás Maduro con un 56,1%, porcentaje que casi triplica al candidato de oposición con mayor preferencia dentro de la encuesta.

同社の回答者の政治思想について

- 51.6%は「与党支持」
- 16.7%は「野党支持（統一プラットフォーム）」
- 15.2%は「統一プラットフォーム以外の野党支持」
- 13.3%は「不明／回答なし」
- 3.2%は「その他」だった。

## ¿Con cuál partido político simpatiza usted?

- PSUV y Gran Polo Patriótico
- Plataforma Unitaria
- Otros partidos de oposición
- No Sabe/ No Responde
- Otro



El 51,6% de los encuestados simpatiza con el PSUV y Gran Polo Patriótico contra un 16,7% que se siente identificado con la Plataforma Unitaria.

Un 13,3% no sabe / no responde.

(写真) Ideadatos

## 経済

### 「中央銀行 1日で1億ドルの為替介入」

経済系メディア「Bancaynegocios」によると、ベネズエラ中央銀行は6月10日に1億ドルを両替市場に投入し、為替介入を行ったという。

この金額は1日当たりの為替介入額としては2024年で最も多い金額。

月曜日の時点で先週の外貨供給量の47%を超えているという。

「Bancaynegocios」によると、2024年1月～5月にかけて中央銀行は17億6300万ドルを両替市場に投入しているという。

2023年の外貨供給額は年間で19億8500万ドルであることをふまえると、かなり速いスピードで外貨を投入していることが分かる。

なお、中央銀行が積極的に為替介入を行っていることもあり、為替レート（両替テーブル）は1ドル36.48ボリバル、並行レートは1ドル40ボリバル弱で安定している。

### 「ベネズエラ BRICS 加盟を希望」

ベネズエラは度々BRICSへの加盟を望む発言を行っている。

6月10日 ベネズエラのイバン・ヒル外相は、ロシアのニジニ・ノヴゴロドで開催された「BRICS」の外相会合に出席。ヒル外相はBRICSへの加盟を加速させる意向を示した。

BRICS は、ブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカの頭文字をとった地下資源が豊富で将来的に大きな成長が見込まれる国の総称。

これらの国は全て、マドゥロ政権と敵対的な関係にはなく、マドゥロ政権は BRICS との関係強化を通じて経済成長を進める考えを示している。

昨年8月、アルゼンチン、サウジアラビア、エジプト、エチオピア、アラブ首長国連邦、イランが BRICS に加盟することで合意した。

当時からベネズエラは BRICS 加盟を申請していたが、許可されなかった（「[ベネズエラ・トゥデイ No.944](#)」）。

## 社 会

### 「24年5月 交通事故は全国で284件」

「道路安全観測所（OSV）」は、2024年5月に全国で起きた交通事故発生件数について284件だったと発表した。また、交通事故により101人が亡くなったという。

284件の交通事故のうち、80件は建造物などに衝突、50件はバイクの操縦ミス、33件は横転、33件は車で人をはねる、28件は自動車同士の衝突などが挙げられている。

事故により被害を受けたのはバイク196台、一般乗用車195台、貨物自動車27台、バス25台、自転車1台だという。

## 2024年6月11日（火曜）

### 政 治

#### 「マドゥロ大統領 選挙結果の受け入れを表明 ～野党 事前の選挙結果受け入れ合意を拒否～」

6月11日 マドゥロ大統領は、自身が司会を務めるテレビ番組「Maduro Con+」にて、7月28日に予定されている大統領選の結果を受け入れる合意書にサインすると発表した。

「私は、選挙結果を受け入れる合意書にサインをする準備が来ている。全ての候補者が選挙当日のCNEの発表を認めることになるだろう」とコメントした。

マドゥロ大統領の発言は、全ての候補者がCNEの選挙結果を受け入れる趣旨の合意書にサインすることを前提としているように理解できる。

実際にホルヘ・ロドリゲス国会議長は、大統領選に出馬する全ての候補者に対して、合意書に署名をするよう要請している。

本件について、エドムンド・ゴンサレス候補は記者から「大統領選の結果を受け入れる合意書にサインするのか？」との質問を受けると、

「何のためにサインをするのだ？我々が交わした合意を先に破ったのは政府である」

と回答。合意書に署名する意思がないことを示した。

なお、ゴンサレス候補の回答を受けて、ロドリゲス国会議長は「合意違反」との見解を示している。

2017年10月に行われたスリア州知事選で野党候補ファン・パブロ・グアニパ氏が当選したことがある。

マドゥロ政権は、当選した知事らに対して、制憲議会の前で知事就任を宣誓するよう指示。グアニパ氏はこれを拒否したため、当選権をはく奪された。

同様に、ゴンサレス候補が合意書に署名をしないことで出馬権を取り消される可能性がある。

### 「マドゥロ政権 新社会開発プロジェクト発表」

6月11日 マドゥロ大統領は、新たな社会開発プロジェクト「Gran Misión Vuelta a la Patria (GMVP)」(祖国への帰還大ミッション)を発表した。

同ミッションは、ベネズエラ移民を支援するためのプロジェクト。イバン・ヒル外相が同ミッションの運営を担うようだ。

「このミッションの目的は、祖国に帰還し、ベネズエラの平和を享受したいと考える全ての国民の帰国を促進することである」と説明。

また、デルシー・ロドリゲス副大統領は、フリオ・ボルヘス氏(第一正義党(PJ)の元幹事長)とレオポルド・ロペス氏(大衆意思党(VP)の党首)を、「国民の分断を招き、ベネズエラに暴力を拡散した犯罪者」と批判。マドゥロ大統領が主導するベネズエラ政府は、国の平和と団結を推進していると主張した。

## 経 済

### 「野党 PDV Holdings 競売の3回目応札を提案」

「ロイター通信」は、野党グループが米国裁判所に対して、PDV Holdings 競売の3回目の応札を実施するよう要請していると報じた。

ロイター通信によると、「仮に応札最高額が100億ドルを超えていない場合、3回目を実施する」という提案のようだ。

PDV Holdings の競売は元々2回の予定で、2回目は6月11日が応札締切で、7月15日が応札結果の発表だという。

報道によると、1回目の応札の最高額は73億ドルだったという。

CITGO の資産評価は専門家により幅があるものの、裁判所から任命を受けた専門家の評価では140億ドルと試算されており、想定を大きく下回っていた(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1037](#)」)。

### 「PDVSA 総裁 ナイジェリア企業と投資協議」

6月11日 PDVSA のラファエル・テジェチェア総裁は、ナイジェリアの企業「Atlas Oranto Petroleum」の Arthur Eze 役員と面談。

ベネズエラでの石油・ガス事業の投資機会についての説明を行った。なお、同協議には「生産性国際投資センター(CIIP)」のアレックス・サブ代表も出席した。



(写真) @TellecheaRuiz

「Atlas Oranto Petroleum」は、ナイジェリアで最も大きな石油・ガス分野の民間企業。赤道ギニア、ナミビア、セネガルなどにも事業展開しているという。

## 「OPEC 5月の産油量は日量82.2万バレル」

OPEC は、加盟国の2024年5月の産油量を更新した。

OPEC の公表(第3者の専門家)によると、5月のベネズエラの産油量は日量82.2万バレル。先月の日量82.5万バレルから日量3000バレル減った。

Table 5 - 7: DoC crude oil production based on secondary sources, tb/d

Secondary sources	2022	2023	3Q23	4Q23	1Q24	Mar 24	Apr 24	May 24	Change May/Apr
Algeria	1,013	973	949	957	907	909	909	903	-6
Congo	261	261	259	251	246	250	267	256	-11
Equatorial Guinea	84	56	59	53	55	59	50	63	13
Gabon	195	203	202	216	214	222	203	220	17
IR Iran	2,554	2,859	3,005	3,154	3,177	3,207	3,219	3,226	7
Iraq	4,439	4,287	4,308	4,324	4,244	4,237	4,202	4,195	-7
Kuwait	2,704	2,595	2,560	2,552	2,431	2,430	2,433	2,418	-15
Libya	981	1,162	1,158	1,170	1,119	1,171	1,187	1,173	-14
Nigeria	1,210	1,314	1,279	1,381	1,414	1,378	1,345	1,419	74
Saudi Arabia	10,531	9,609	8,994	8,953	9,012	9,038	9,032	9,000	-32
UAE	3,066	2,950	2,912	2,906	2,927	2,924	2,928	2,935	7
Venezuela	684	749	767	774	816	822	825	822	-3
<b>Total OPEC</b>	<b>27,722</b>	<b>27,018</b>	<b>26,452</b>	<b>26,690</b>	<b>26,562</b>	<b>26,646</b>	<b>26,600</b>	<b>26,629</b>	<b>29</b>

また、ベネズエラ石油省が OPEC に報告した5月の産油量は、日量91万バレル。先月の日量87.8万バレルから日量3.2万バレル増えたことになる。

Table 5 - 8: OPEC crude oil production based on direct communication, tb/d

Direct communication	2022	2023	3Q23	4Q23	1Q24	Mar 24	Apr 24	May 24	Change May/Apr
Algeria	1,020	973	951	958	907	907	907	901	-6
Congo	262	271	269	259	252	254	259	264	5
Equatorial Guinea	81	55	58	53	53	60	60	62	1
Gabon	191	223	232	234	..	..	..	..	..
IR Iran	..	..	..	..	..	..	..	..	..
Iraq	4,453	4,117	4,101	4,123	3,957	3,903	3,891	3,860	-31
Kuwait	2,707	2,590	2,548	2,548	2,413	2,413	2,413	2,413	0
Libya	..	1,189	1,187	1,191	1,149	1,236	1,218	..	..
Nigeria	1,138	1,234	1,201	1,313	1,327	1,231	1,281	1,251	-30
Saudi Arabia	10,591	9,606	8,969	8,901	8,979	8,973	8,986	8,993	7
UAE	3,064	2,944	2,904	2,892	2,919	2,918	2,917	2,933	16
Venezuela	716	783	797	796	864	874	878	910	32
<b>Total OPEC</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>	<b>..</b>

Notes: .. Not available. Totals may not add up due to independent rounding.  
Source: OPEC.

(写真) OPEC

## 社 会

### 「月収1000ドル超の人は全体の7%」

ベネズエラ人経済学者 Jesús Palacios Chacín 氏は、ベネズエラ人で月収が1000ドルを超える人は全体の7%程度しかいないと指摘した。なお、7%は100万人超ということになる。

「ベネズエラにはコンサートやレストランなど娯楽にお金を使える人は一定数存在する」「しかし、所得格差は広がっている」「コンサートに入場する8万人は、ベネズエラの経済情勢を代表する人ではない」「我々が取り組むべき課題は、娯楽にお金を使用できる人を増やすことではなく、生活必需品にお金を使用できる人を増やすことである」と指摘した。

### 「高齢者限定のスペシャル CLAP を配布」

マドゥロ政権は、高齢者省を新設するなど高齢者向けの支援拡充に乗り出している(「[ベネズエラ・トゥデイ No.1070](#)」)。

高齢者省の新設発表の際にマドゥロ大統領は「高齢者限定の特別 CLAP の販売を行う」と発表していた。

この発表の通り、高齢者限定の特別 CLAP の販売が開始した。同セットに入っている食料品は以下の通りだという。

「豆果」「鶏肉」「とうもろこし粉」「食用油(1L)」「パスタ(500g)」「牛乳(250g)」「粉ミルク(250g)」「いわし缶(2つ)」「米(2キロ)」「砂糖(1キロ)」「レンズ豆(1キロ)」「あずき(500g)」

以上